

一般社団法人日本経営士会
東北支部 会員各位

一般社団法人 日本経営士会
東北支部 支部長 佐藤光子

平成27年2・3月情報通信

東北支部の皆さま、26年度支部テーマ『全員参加』、何か一つでもよろしいのです。経営士会の活動に顔をだして下さい。新しい出会いが待っています。こう呼びかけをして1年になります。会員皆さまの協力で東北支部は躍動する何かを感じております。一人、一人が崇高な意識を持ち、心から進んで経営士として活動できることを願っています。

さあ、新しい1年のスタートです。無理をしないで仲間を信じて行きましょう。

27年度東北支部テーマは 『会員同士の信頼』 です。

会員同士の信頼の構築 = 会員同士の補完 + 会員同士の協力

東北支部長 佐藤光子

①[報告] 福島支援センター MPP研修報告

開催日 平成27年3月21日(土) 13:30~16:30 参加者 8名
開催場所 郡山市民文化センター
ケーステーマ 「社員の意識改革」 リーダー 庄司芳昭 レコーダー 長峯英二
MPP終了後、17:00~懇親会 6名参加



<参加者記念撮影>

会員同士の交流を深めました。福島支援センターの今後の活動に繋げていきます。



写真撮影者



<研修風景>

活発な意見が交わされ、有意義な研修となりました。

参加者：市川昭男・庄司芳昭・山内一勲・鈴木一・佐藤泰男・渡辺晋也・長峯英二・佐藤光子（順不同、敬称略）

～東北支部から躍動！誇る経営士の声～



一般社団法人日本経営士会東北支部幹事
山形経営支援センター副センター長 岡崎 充男

「元気いっぱいのもづくり」

山形で製造業を中心に経営支援を実施しております。グローバルな環境の中で「ものづくり」も大きく変化していますが、「いかにして全体最適の改善で成果を上げていくか」ということが益々重要になっています。その中でも「人づくり」で人財を育成していくことが持続的な発展のカギを握ります。東北支部では「経営士養成講座、経営士補養成講座」を継続して実施していますが、この勢いと湧き出づる新たなエネルギーが明日を拓く原動力となります。 『東北ファイト！！』



一般社団法人日本経営士会東北支部常任幹事
宮城経営支援センター長 佐々木敬志

「初心忘れることなく・・・」

小生が「経営士」の合格証を頂戴してから十数年が経ちました。当時の支部長は山口本部理事(現在)、面接試験では「支部活動への積極的な参画の約束」を致し、辛うじて合格になったものと考えております。しかし、参画の義務感はあるものの意に反して遠のいたままでありました、その頃、公益法人改革に伴う問題など本部及び支部の方針・運営等が気に掛かり、久々に支部報告会へ出席を致しました。報告会は少人数ながら、支部運営の在り方など活発な意見が交わされていたことを記憶しております。その時の活発な発言者が、前支部長の石川支部顧問(現在)であり、石川前支部長は、プレーイングマネージャとして、身を粉にしなから活動をされておられて、小生も多少なり感化され、参画して出来ることから始めようとするに至ったものであります。4年ほど前から昨年までの支部主催の経営士養成講座の面接官を仰せつかり、受講生の方々に「支部活動に参加することを約束して頂けますか？」の質問をしている小生が居りました。昨年就任された佐藤支部長は、リーダーシップ及びマネジメントを共に兼ね備えられた女傑であります。支部長は会員が全員参画する支部活動を念頭にされており、小生もそれが理想で、あるべき姿と考えているところであります。「全員参画」の第一歩は、支部報告会等への参加にあると思います。(という小生はパーフェクト参加の優等生ではありませんが、・・・)最後に、我々は支部活動においても、経営士としての地位向上・発展の為、会員で各業界・各専門分野で活躍されている諸先生方との意見交換や人脈の構築、業務の連携など、「経営士」本来の初心に立ち返り、多種多様・立体的なアライアンスの構築を、さらに推進していかなければ生き残ることができないと強く感じるものであります。



一般社団法人日本経営士会東北支部
広報活動副委員長 倉島史明

私は26年度支部広報部員としての任を頂きました。業務諸々は支部長や皆様にご負担頂いたことも多く広報ではなく後方部員となってしまう申し訳なく思っております。さて、私が経営士会に入会した年は、私の意識を大きく変えたあの東日本大震災の年でした。混沌とした状況の中で先輩経営士に教えを請いながら自身の限界へのもどかしさやそれを乗り越えようとした緊張感。それらを抱えながらの経営士活動開始でした。復興支援にあたった当時の記憶がよみがえります。それから早4年が過ぎました。沿

岸部はまだ厳しい状況ですが、支部会議室のビルから見える仙台市中心部はもはや震災の傷跡はなく、穏やかな昼下りの情景が広がっています。しかし会議の場ではこの地域を見据え企業環境を支え続けた先輩経営士の深みのある発言に触れながら、私自身の志は曇っていないか、驕りや慢心は無いかな努力を怠っていないかと思いつぐ自分がある事に気づきます。経営士のメンバーは独立した個々の経営者でありバックボーンやキャリア専門分野が違うことはいまでもありません。その中で相手を敬う相互理解こそが東北支部のカルチャーであることを感じます。これからの東北支部はこの違いや個々の特徴の輪を広げ、更に大きなうねりに変える時期でありましょう。後方部員から前方部員になるよう私自身も反省すると共に多くの方々が一歩前に歩み寄って頂ける東北支部であるよう願っています



一般社団法人日本経営士会東北支部監事
福島支援センター副センター長 佐藤泰男

「経営士としての活動について」

平成 24 年 2 月に会社の勧めで「経営士」として登録させていただきました。それ以前から私自身また当事務所の方針として、税理士業務のなかで中小企業の顧問先企業を会計・税務だけではなく、経営のアドバイスという視点からも仕事をしていました。その理由は、赤字企業が全体の 70%以上を占める昨今、ますます我々の役割が重要になってきており、まして新規設立企業が増えない状況では、企業の黒字化がもっとも重要な事であると思っていたからです。そのためには、我々自身また事務所のノウハウやスキルを磨くことが必要であることから、特にベテランと言われる会計人は、「経営士」としてプロフェッショナルなコンサルタントになることが時代の要請であると考えます。そこで当事務所では、ベテラン幹部職員を中心に「経営士」になってもらい、その自覚を持つとともに、同時にプライドを持って経営アドバイスできる環境づくりをしようとしています。その結果、現在東京地区 10 名、東北地区 10 名の「経営士」を登録しています。また、我々財務のコンサルタントだけでは解決できない諸問題もあるため(人事労務、販売戦略、マーケティング、広告宣伝方法等々)各専門分野の経営士の先生方との連携も重要なことであると思います。そのためには、経営士会(支部等)の活動が重要になり、人間関係作りも含めて現在構築中であります。経営士会としても会員が活発に活躍するにはどうすべきかを考えるべきであると思うと同時に、自分自身も一件ずつ成功事例を作っていこうと考えています。せっかく登録させていただいた「経営士」ですので、今後も積極的に支部活動も含めて実践させていただき、良い結果と方向性を役員の皆様と協力して見出していければ幸いです。



一般社団法人日本経営士会東北支部常任幹事
中小企業会計啓発普及セミナー委員長 庄司芳昭

私は経営士会に入会してちょうど今年で 20 年になります。入会当初から、企業内経営士として地元銀行に勤務しながら、経営士として活動して参りました。定年前に独立しようとした矢先の昨年 4 月に銀行からの要請で現在所属の宮城県産業復興相談センターに勤務しています。同センターは、東日本大震災により甚大な被害を受けた中小事業者等の事業再開や事業再生を支援するために設置された、公正中立な公的機関です。職員は私のような金融機関出身者、公認会計士、税理士等が連携して被災事業者からのご相談に応じています。具体的な相談内容は、①信用保証制度や制度融資等の支援施策のご案内、②外部専門家や関係支援機関のご紹介、③事業計画の策定支援、④産業復興機構による債権買取の支援等です。私の担当は④の債権買取支援と買取支援後のフォローアップが主な仕事です。債権買取支援は、将来の企業価値と清算価値と比較して企業価値が高ければ、企業価値価格で銀行から債権を購入します(銀行にとってはロ

スが発生)。そして、10年後に実際の買取額をメイン銀行に買取ってもらいます。この時点で支援先企業は、自社の返済能力に応じてその買取ってもらった債権(支援先企業は債務)を5~10年で返済するというスキームです。したがって、10年後に支援先企業が事業計画書どおりの返済能力を備えることができているかが重要です。支援先企業が事業計画書どおり10年後の業績が回復するようフォローアップすることも私の大切な仕事になります。私の仕事は「公金を使っての私的整理」です。日本の金融行政で公金を使って私的整理を実施した歴史はありません。これらの経験を東北支部の経営士の方々には機会がある都度、今後もお話ししていこうと考えています。

②[募集] 平成26年度東北支部報告会及び記念講演の開催

日時：平成27年5月23日(土)

場所：シェルブール仙台 TEL 022-261-7711

仙台市青葉区一番町4-3-22 スマイルホテル仙台国分町3階

(JR仙台駅より徒歩15分 または タクシーで5分・地下鉄広瀬通駅より徒歩3分)

スケジュール：10:00~12:00

オリエンテーション

ブラッシュアップ研修 講師 深田一弥氏、掛札彰久氏

13:00~14:00 報告会

14:30~16:30 記念講演 鶴岡市加茂水族館前館長 村上龍男氏

17:00~18:00 懇親会

なお、以下の会員の方は、できる限りオリエンテーション及びブラッシュアップ研修から参加をしてください。(敬称略)

2012年入会

愛山拓 伊藤宏一 表伸也 田村滋 鏡仁 鹿又徹 神谷弘信 坂巻仁 佐藤泰男 渡辺秀路

2013年入会

相沢和男 長峯英二

2014年入会

伊藤仁 片岡修一 木内茂人 菊池幸太郎 小又勝山 永澤貴之 茂木昭 八木寛彰 岡崎洋祐
峯田寿子 宮崎恭子 横山のり子 渡辺晋也

③[募集] NJK 女性経営士の会 in 山形

日時：平成27年8月29日(土)

場所：山形テルサ

内容：MPP研修(トライアルケース)、懇親会

東北支部より30名程度参加を予定しています。

日本経営士会を知っていただく良いチャンスと思いますので、外部の方々をお誘いしていただくよう、お声がけよろしくお願い致します。

④[平成27年度 東北支部年間事業計画]

年月	本部	役員会	経営士養成講座	経営士補養成講座	専門委員会・支援センター連携事業	ブラッシュアップ研修	各支援センター
H27 4月		4/18 役員会					宮城支援センター 無料経営相談
5月		5/23 報告会・講演会				5/23 ブラッシュアップ研修	
6月	6/12 本部総会	6/13 役員会					山形支援センター 会員・一般向セミナー
7月		7/11 役員会		北東北支援センター経営士補養成講座	MPP リーダー研修		7/18 福島支援センター MPP 研修
8月	8/29 NJK in 山形						宮城支援センター 無料経営相談
9月		9/12 役員会				9/12 ブラッシュアップ研修	北東北支援センター 無料経営相談
10月	10/11・12 全国研			福島支援センター経営士補養成講座 10/24・31			北東北支援センター 無料経営相談
11月				11/7・8・14 11/21（面接日）			
12月		12/5 役員会					
H28 1月					1/30・31 山形・宮城 一泊 MPP 研修		
2月							宮城支援センター 無料経営相談
3月		3/26 役員会					

※この事業計画は、3月28日の役員会にて確認されました。期中においては、講座および研修等については追加・変更になる場合があります。